

# 「仙谷氏主導」に反発

## 大飯再稼働要請 民主の亀裂拡大

野田政権が関西電力大飯原発3、4号機(福井県おおい町)の再稼働を地元で要請したのを受け、原子力政策をめぐる民主党内の亀裂が拡大している。特に再稼働要請を主導した仙谷由人政調会長代行と枝野幸男経済産業相、細野豪志原発事故担当相、古川元久国家戦略担当相、斎藤勁官房副長官の「5人組」に対する慎重派の反発が強まり、奥石東幹事長らが沈静化に躍起になっている。(2面参照)

を要請した14日に別働隊として福井県入りした背景を説明した。仙谷氏は昨年から電力不足回避のために東京電力の経営問題や再稼働問題に関与。再稼働「妥

当」の政治判断は野田佳彦首相と関係3閣僚(枝野、細野両氏と藤村修官房長官)が協議した結論とされているが、仙谷氏はこの協議に毎回同席する一方、

強まっている。16日の党参院議員総会では「一党の意見もまとまっていけないのに、なぜ政府の閣僚会議に仙谷氏が出ているのか」などの批判が続出。党原発事故対策プロジェクトチーム(PT)の役員会では荒井聡座長が「経緯を(原発事故の起きた)福島県に全く説明していない」と政府に不満を示した。亀裂の要因は野田政権発足直後にある。原発事故PTは首相交代でいったん廃止され、再稼働に積極的な前原誠司政調会長のもとで再設置されなかった。再稼働強行の意図を疑った荒井氏が野田首相に直談判して設置を要

「私は(再稼働の)関係閣僚会議に党のオプザーバーとして一貫して出て、情報が多いので民主党福井県連の方々に説明した」



講演する民主党の仙谷由人政調会長代行。名古屋市内のホテルで16日、兵藤公治撮影

求し、慎重派の意見集約の場を残す形となったが、前原氏は「再稼働は原発事故PTの直接の課題ではない」との立場だ。慎重派が政府に意見を伝える場が確保されず、奥石氏のもとに次々と議員が駆け込む事態となった。これを受け、奥石氏は13日夕に首相と官邸で2人だけで会い、「丁寧に説明してもらいたい」と要請する一方、16日の記者会見では「今回の政府の判断はよかったと思っている」と強調。消費税増税問題に続き、民主党内の政策調整システムの未熟さを浮かび上がらせている。

野田佳彦首相は16日夜、米大使と東京都内の日本料亭で会い、今月29日から5月2日、調整されている訪米などをめぐる交換した。

# 発表20分前に報告

## ミサイル発射 首相官邸連絡時間を修正

政府は16日、北朝鮮のミサイル発射の発表が約45分後まで遅れた問題で、首相官邸の対策室が発表約20分前の13日午前8時過ぎに、ミサイル発射を知らせず

されたのは23分後だったと陳謝。午前8時00分に同省局長が官邸の危機管理センターで口頭で報告していたことを認めた。一方、午前8時には

ル発射をめぐる政府内の情報伝達

分	北朝鮮がミサイルを発射
分	米国の早期警戒情報(SEW)を防衛省が確認「北朝鮮西岸から南へ発射。数は不明」
分	首相、官房長官、内閣危機管理監が「飛翔(ひしょう)体発射」のSEWを防衛省以外のルートで入手
分	統合幕僚長が防衛相に「米軍が飛翔体を見失った」と報告
分	統幕副長が防衛相に「飛翔体は洋上へ落下した模様。日本には影響なし」と報告
分	首相官邸の危機管理センターで、防衛省の局長が「飛翔体発射の模様とのSEWを得たが、正確かどうか確認中。日本のレーダーでは、日本への飛来は確認していない」と口頭で報告
分	同センターからEMネット(緊急連絡網)で各自治体へ伝達し、防衛相が官房長官に電話で「洋上へ落下した模様。日本には影響なし」と連絡
分	統幕長が防衛相に「飛翔体は1分以上落下し、複数の物体となって洋上に落下」
分	防衛相が官房長官に電話で再度連絡
分	防衛省が同センターに「飛翔体は1分以上飛行し、洋上へ落下。日本への影響なし」と初めて文書で連絡
分	防衛相が記者会見で発射を公表
分	同センターがEMネットで「北朝鮮西岸から南へ発射。数は不明。発射の後、数個に分かれた模様。日本への飛来は確認せず」と自治体に連絡
分	官房長官が会見で説明

谷垣氏「話し合い」 自民党の谷垣禎一総裁は、都内で講演し、衆院解散・総選挙を引き換えに消費増税法案「話し合い解散」について「さでぶつかり合い、その中で散みたいものが全くない」と改めて前向きな考えをその前提として「基本戦略権を」解散に追い込むことだ

「最高裁」 「最高裁」も、国会議員も、余計なことを

「中川公務員相」 野田佳彦首相は16日、内閣の国家公務員制度改革担当

「ファイル」 あすミサイル集中 民主党の城島光力国対委員長、自民党の岸田文雄国対委員長、北朝鮮の弾道ミサイルなど外交・安全保障問題に、18日に衆参両院の予算委員会、午前10時、午後は閣議の審議を予定。

首相ルーミス米大使 野田佳彦首相は16日夜、米大使と東京都内の日本料亭で会い、今月29日から5月2日、調整されている訪米などをめぐる交換した。